

2008年5月30日



中部国際空港株式会社  
Central Japan International Airport Co., Ltd.

## 国内線旅客施設使用料の改定について

当社は、国内線の旅客施設使用料を、下記の通り改定することと致しましたのでお知らせします。

空港が開港して3年が経過しましたが、その間の国内線旅客数の実績は、現行の料金を設定した際に想定した旅客数と乖離が生じており、今後の想定需要は、下表の通り、当初予想の817万人から653万人へと減少する見込みとなっております。今日まで経営努力を重ね、お客様に満足頂けるよう良質なサービスの提供に努めてまいりましたが、このような状況を踏まえ、この度、国内線の旅客施設使用料を改定させていただくことと致しました。

国内線をご利用いただくお客様には、ご負担をお願いすることとなりますが、さらに安全・安心で利便性の高い空港を目指し努力して参りますので、今後ご支援いただきますようお願い申し上げます。

### 1. 国内線旅客施設使用料の額

(消費税込み)

	改定後	現行
国内線をご利用になり、出発または到着するお客様1人当たり	300円	200円
(小児用割引航空券をご利用のお客様)	(150円)	(100円)

### 2. 改定日

2008年10月1日から

### 3. 算定の根拠

	改定後 (詳細別紙)	現行
対象施設投資額	193億円	194億円
年間回収必要額	19.9億円/年	20.8億円/年
想定需要 (対象旅客数)	653万人 (2008年~2029年平均)	817万人 (2005年~2029年平均)
単価算定	$453億円 \div (653万人 \times 21.5年)$ = 322円 $\Rightarrow$ 300円/人	$20.8億円 \div 817万人$ = 254円 $\Rightarrow$ 200円/人

【参考】 国内線旅客施設使用料

当空港では、国内線をご利用になるお客様に安全、安心で快適な旅客施設を提供するため、旅客ターミナルビルのコンコース、ゲートラウンジなど共用施設の費用の一部について、2005年4月1日から国内線でご出発または到着するお客様にご負担頂いているものです。

